



▲シンポジウムの様子 (左から菅野村長、佐藤知事、猪口議員、佐藤隆明さん、佐藤香織さん、
鳴原昭二さん、西美香さん)

シンポジウム

「子育て支援の環境づくり」をテーマに、菅野村長が進行役を務め、パネラーの猪口議員と佐藤県知事、村民代表の佐藤隆明さん(上飯樋)、佐藤香織さん(前田・八和木)、鳴原昭二さん(長泥)、西美香さん(上飯樋)が、それぞれ子育てに対する思いや希望する子育て支援などを発表しました。

猪口議員・日本の将来の一番の不安は少子化。家庭毎に事情が違うので、理想の家庭像を描くのではなく、自分ができることを地域で率先して行っていくことが大事。

佐藤知事・目標は出生率を上げること。それには、子育てしやすい環境づくりと経済的な支え、そして医療の充実が必要。

佐藤隆明さん・子どもたちが地域の行事に参加できる仕組みや、子どもたちが主役になる機会を多く設けることが大切。

佐藤香織さん・クーポンなど、色々子育てに応援してもらっていると感じる。子育てを通じて得た人のつながりを大事にしていきたい。

鳴原昭二さん・基金のような制度を設け、子どもが中学生になるまで村が家庭に経済的な支援を行ってはどうか。

西美香さん・共働きの苦労も分かるが、専業主婦の苦労もみんなに理解してほしい。子育てサークル活動の経験を、これから生かしていきたい。

みんなのひろば

ここはみなさんが主役のひろばです。
身近な話題をどんどんお寄せください。

■役場総務課 TEL42-1613



2/25

いいたてならではの「までい」な子育てフォーラム



▲フォーラムの様子

元少子化男女共同参画担当大臣 猪口邦子議員が講演

「までい」な子育てフォーラムが村公民館で開かれ、元少子化男女共同参画担当大臣の猪口邦子衆議院議員による基調講演をはじめ、シンポジウムやナイスパパ表彰を通して、子育てを応援する環境づくりなどについて考えました。

ナイスパパ表彰式

子育てに頑張っている素敵なお父さんを認定。応募者の中から選ばれた7人に、庄司商工会長から認定書と記念品が贈られました。

今回ナイスパパに認定された7人



星 貴弘さん (上飯樋)



小泉勝彦さん (大久保・外内)



鳴原昭二さん (長泥)



高橋誠二さん (白石)



今野智和さん (上飯樋)



佐藤 匡さん (飯樋町)



高橋美文さん (前田・八和木)

子どもと一緒に釣りに行った、雪かきを行うなど、積極的に子育てにかかわっている。記念品・折りたたみ椅子

子どもを保育所へ毎日送り迎えしており、連絡帳も毎日細かく記載している。記念品・ガソリン券

子どもと一緒に夕食をついたり、育成会やPTA活動なども積極的に参加している。記念品・エプロンセット

ビデオで撮った子どもの写真を編集するなど、子どもに対する熱い思いを持っている。記念品・DVD

毎朝、いっぱい笑顔と元気なあいさつと共に2人の子どもを幼稚園に送っている。記念品・子ども用鏡

絵本を開いたような弁当や料理テキストのような弁当など、手づくり愛情弁当の達人。記念品・弁当調理本

下の子どもをおんぶしながら、幼稚園の保育参観に参加している現代型のパパ。記念品・おび



▲あいさつする佐藤雄平知事

村では今年度、県の「福島県地域の子育て応援交付金」を受け、村商工会に委託してマタニティママ食事割引制度などの子育て支援を進めています。このフォーラムは、その事業の一つとして村商工会が主催しました。

フォーラムでは、はじめに主催者を代表して庄司和明商工会長があいさつしたの続き、佐藤雄平福島県知事が「飯館村は人づくりの最先端を進んでいます。皆さんのますますのご活躍を期待しています」とあいさつ。

また、亀岡偉民衆議院議員が講師の猪口議員を紹介しました。フォーラムは、猪口議員の基調講演、シンポジウム、ナイスパパ表彰式の3部構成で進められました。

会場には村内外から200人以上が訪れ、講師やパネラーの講話に熱心に耳を傾けていました。

基調講演



▲講演する猪口邦子衆議院議員

元少子化男女共同参画担当大臣の猪口邦子衆議院議員が「私の望みとする子育て支援」と題して講演。

私が大臣時代に福島県で講演した時、飯館村のエンジェルプランや父子手帳などの事例を紹介したことがある。

日本の少子化の背景には、女性が仕事と子育ての両立が難しいと予測して結婚や出産を控えてしまっていることがある。

職場や地域の人たちが温かい気持ちで子育てを支え、協力する環境づくりが必要で、そのためには今までの子育てに対する意識を変える必要がある。

今の日本の経済水準に見合う子育て支援を、これから行政は打ち出していくべき。

いいたてならではの「までい」な子育てフォーラム

文化財は郷土の貴重な財産

1/26 文化財防火デー消防訓練



▲放水訓練の様子

宮内地区の綿津見神社で「第54回文化財防火デー消防訓練」が行われ、神社の氏子や村消防団員、村文化財保護審議会委員、飯館分署員など約50人が参加しました。

この消防訓練は、毎年1月26日の「文化財防火デー」に合わせて、文化財保護審議会や村消防団、村教育委員会などが協力し、村内のお寺および神社などを会場に実施しています。

この日は「神社裏の山林から出火し、延焼拡大の恐れがある」との想定で訓練が開始され、氏子の代表らによる重要物搬出訓練や消火器を使った初期消火訓練など、合わせて6つの訓練を実施しました。



▲ため池から水を汲み上げる消防団員ら

平成の大合併で、福島県の町村数は80から46※にと、半減しました。先日、町村会の総会がありました。以前と比べると、こじんまりして、何となく寂しい感じすらしたところです。さて、その少なくなった46町村の中で、昭和21年生まれの首長が現在なんと9人いることが分かりました。いずれも、自立で頑張っているという方は多いです。



昭和「21年の会」

それに気付いた私は、早速皆さんに声をかけ「一緒に勉強会や自立のための活動をしていきませんか」と呼びかけをしました。発足式は昨年でしたが、今年度の事業として、この2月22日に知事との「熱く語る会」の実現にこぎつけました。この会合、切望望なし、互いに福島市の将来のこと、町村のことなどを熱く語ろうという主旨での会合でしたので、知事も快く時間をさいてくれ「こういう会合が大切なんだよな」ということで、実に和やかな中、中身の濃い本音の意見交換ができました。



平成20年2月28日

飯館村長 菅野 典雄

地方分権ということ、この仕事は、これは市町村で、と役割分担していくのがこれからの時代、という考え方が強まっています。それはそれで正しい方向ですが、現在は財政の厳しい時代でもあり、金を合せて、ある時には一緒に力を合わせ、金を出し合せて、ある時は生活を守っていくという「福島方式」があってもいいのではないかと、などという話もしたところでした。

※7月に飯野町が福島市に合併するので、町村数は46となる。

1/19 晴れの受章を盛大に祝福



▲祝賀会の様子

荒消防団長「藍綬褒章・受章祝賀会」

昨年に藍綬褒章を受章された荒利喜村消防団長の「受章祝賀会」が宿泊体験館「きこり」で開かれ、消防関係者、地元住民など120人が出席して、荒団長の受章を祝いました。この祝賀会は、村と消防関係者12人の発起人（代表・菅野村長）が主催。祝賀会では、発起人代表の菅野村長があいさつしたの続き、来賓の北原昇村議会議長、加藤貞夫県議会議員、荒忠夫県消防協会相馬支部長から祝辞が述べられました。

さらに、消防関係者から荒団長へ記念品や花束が贈呈された後、荒団長が「多くの先輩や同僚、関係団体の皆様方のご指導とご協力をいただき、今般の栄誉に浴することができました。この受章を契機に一層精進していきます」と謝辞を述べました。乾杯後の祝宴では、大黒舞やヨサコイなどのアトラクションが披露され、会場は大いに盛り上がりしました。

大倉地区で携帯電話のサービス開始



▲大倉地区に完成した高さ40mの鉄塔施設

村が、県の補助を受けて大倉地区に整備を進めてきた携帯電話鉄塔施設（大倉局）が2月に完成しました。この地区で利用できるのはNTTドコモとKDDI（au）の携帯電話で、サービス開始はNTTドコモが3月中旬、auが6月頃を予定しています。村では、今後も県などの補助を活用しながら、携帯電話が利用できない地区への鉄塔施設整備を進めていきます。

誕生おめでとう

赤ちゃんの名まえ	親の氏名	行政区
佐藤 奏汰くん	伸一・夏樹	大久保・外内
佐藤 悠星くん	匡・真理子	飯 樋 町
星 慎治くん	弘幸・幸恵	上 飯 樋
佐藤 由菜ちゃん	翔大・梨花	関根・松塚

すくすくと元気に育ってね

結婚おめでとう

氏 名 行政区
届け出はありませんでした

おくやみ

氏 名	年 齢	行政区
菅 野 ハルヨ	96	蕨 平
鈴 木 コウ	73	深 谷
高 橋 健	73	上 飯 樋

ご冥福をお祈り申し上げます

(1月21日から2月20日までに届け出のあったものを掲載)
※この欄に掲載を希望しない方は、届け出のときに住民係へ申し出てください。

ひとのうごき

(平成20年2月1日現在)

人 口	今月 (前月比)	昨年同期
男	3180人 (-2人)	3266人
女	3207人 (-5人)	3289人
計	6387人 (-7人)	6555人
世帯数	1701戸 (-2戸)	1747戸

◆◆◆ 1月1日～31日までの人口動態 ◆◆◆
 転入 11人 転出 10人
 出生 0人 死亡 8人

(平成17年国勢調査に基づき増減された現住人口)